



「ミス日本みどりの大使」とは

公益社団法人国土緑化推進機構Webサイト「みどりの大使」
(<https://www.green.or.jp/promotion/midorino-taishi/midorino-taishi2024-0209.html>)

みどりの大使が行く!



2024

ミス日本

みどりの大使

安藤 きらり

カレーうどんで 森林づくり

あきた森林づくりカレーうどん商品発表会に出席しました。このカレーうどんは、売上の一部が再造林のために使われます。再造林とは、木々を伐採した跡地に再び苗木を植えて、新たに森林をつくりだすことです。木を伐って利用した後、山に手を付けずにほったらかしにしたら、数十年後の未来、木がなくなってしまう。将来の日本のために、再造林はとても大切な役割を担っているということを、みどりの大使の活動を通じて学んできました。9月末に秋田県庁を訪れ、副知事をはじめとする秋田県の皆様とお話する時間がありました。カレーうどんと森林づくりを掛け合わせたメリットは、森林・林業に関わりが薄い人でも、森林づくりを応援できるという点だと思います。森林

再造林の難しさ

今回のカレーうどんは、再造林の実態を多くの人に知ってもらうチャンスだと思っています。みどりの大使として、「伐って、使って、植えて、育てる」サイクルがとても重要であることを訴えてきました。「伐って使う」についてはウッドデザイン賞などの優れた製品・取組や、C1Tや不燃性の木材を利用した建築物など、いろいろなものに触れてきました。しかし全国の



は豊かであってほしいけど、どのような形で協力したら良いのかわからないという声を、よく同世代の友人から聞いていました。そのような思いを抱いている人に、是非とも今回のカレーうどんはおすすめてほしいです。美味しいカレーうどんも堪能できて、再造林も支援できます。



森林の現場に行ったときに聞こえてくる声は「再造林が大変」というものでした。植えて育てても、その人が直接収益を手にすることはほとんどないそうです。なので経営の都合上、完全で完璧な再造林はやりにくいと聞いたことがあります。また再造林は、必ずしも資金があればできるという訳ではなく、そもそも大変な労力が必要だと知りました。未来の日本のために一生懸命働いている方々がいるからできることです。カレーうどんを手に入る方々には、是非とも再造林に関わる方々の努力についても知るきっかけになって欲しいと思いますし、こうした実態もみどりの大使として必ず伝えていきたいと思いました。

ぜひご支援を

カレーうどんは、10月から秋田県内のファミリーマートや道の駅などで販売しているそうです。また、オンラインショップでも購入可能です。愛媛県の森林組合とも協力し、愛媛県産のたけのこ(メンマ)が入っています。付録には、秋田スギで作られた可愛い木工品がついています。「あきた森林づくりカレーうどん」で検索してみてください。ぜひお手にとって、再造林の支援にご協力お願いいたします。

